

第一小学校複合施設の不具合に係る第三者機関による検証について

1 これまでの経過

年 月	内 容
令和元年7月	● 柴崎学習館外壁ひび割れの不具合の発見
令和元年8月	● 鉄板プレートによる剥落防止工事の実施 (第1回目・大成建設㈱)
令和元年10月	● 文教委員会にて「柴崎学習館の外壁不具合について」を報告
令和元年12月	● 鉄板プレートによる剥落防止工事の実施 (第2回目・大成建設㈱)
令和2年3月	● 大成建設㈱に対し、第一小学校・柴崎学習館建物不具合に係る第三者機関（公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター）による調査・検証依頼の通知文を発出
令和2年11月	● 大成建設㈱による柴崎学習館の建物不具合調査の実施
令和2年12月	● 大成建設㈱による第一小学校の建物不具合調査の実施
令和3年6月	● 第三者機関による審査（第1回） (大成建設㈱が提示した不具合対応の妥当性について審査)
令和3年8月	● 第三者機関による審査（第2回） (大成建設㈱が提示した不具合対応の妥当性について審査)
令和3年11月	● 第三者機関から大成建設㈱へ検証結果の報告 ● 大成建設㈱から市へ検証結果の報告

2 第三者機関の検証結果概要

- 第三者機関は、大成建設㈱が提示した下記の不具合の原因、構造安全性及び補修方法の妥当性を調査・審査した結果、妥当であると判断した。

(1) 第一小学校（2階西側昇降口屋外テラス）

ア 不具合内容 床版のひび割れによる漏水の発生

<発生原因>

- 屋外テラスであり、気温の変化が大きく、コンクリートの乾燥収縮が起きやすい部位であるうえに、接続する室内床や柱と梁による拘束が大きいことから、ひび割れが発生し漏水をもたらした。

<構造安全性>

- 構造安全性には問題はない。

<補修方法>

- Uカットシール材充填工法による補修を行う。本工法は漏水の防止とともに、今後も発生する外気温の変化や乾燥収縮による床版の伸縮を吸収し、これ以上のひび割れ幅の拡大を防止する効果も認められる。



< 2階屋外テラス全景 >



< 下階（1階）天井に漏水 >



< ひび割れ状況 >



< ひび割れ幅最大約 2 mm >

(2) 柴崎学習館（外壁）

ア 不具合内容 外壁角部にひび割れが発生

<発生原因>

- 施工時に外壁のプレキャストコンクリートを安定させるために設置したライナープレート（各階の隙間を調整するためのレベル調整材）が撤去されずに残置されていたことにより、地震等による骨組み変形時に回転が拘束され、プレキャストコンクリートにひび割れが発生した。

<構造安全性>

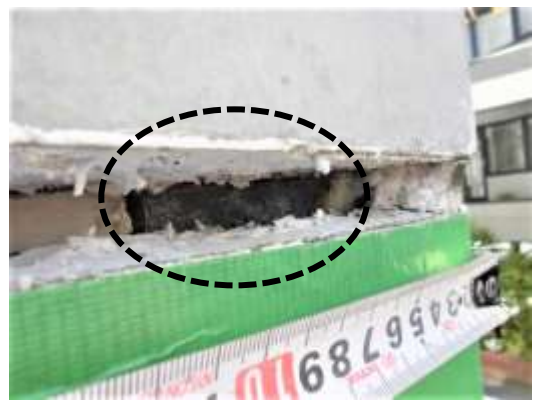
- 構造安全性には問題はない。

<補修方法>

- 残置されているライナープレートは全て撤去する。また、外壁のプレキャストコンクリートに発生したひび割れは、ひび割れ幅に応じ剥落防止を考慮したうえで、モルタル充填やシーリング材充填により補修を行う。



<ひび割れ状況>



<ライナープレート>

イ 不具合内容 壁部材より錆だれが発生

<発生原因>

- 外壁のプレキャストコンクリートの製作の際に、鉄筋の結束に使用した鉄線等が表面に露出しており、その鉄線等を起点に錆だれが発生した。

<構造安全性>

- 構造安全性には問題はない。

<補修方法>

- 錆だれの発生原因である鉄線等を除去するとともに、外壁のプレキャストコンクリートの錆を落とし、表面を左官補修のうえ色合わせを行う。



<錆だれ状況>

3 今後の対応等

- 児童及び学習館利用者の安全面に配慮するとともに、学校運営及び学習館利用に支障がないよう工事日程を調整し、大成建設(株)による建物不具合の補修工事（無償）を実施する。
- 保護者・学習館利用者・学校運営協議会・近隣自治会へ、第三者機関の検証結果を周知する。